



くらしの相談 担当者レポート No 25

よしのひでくに



吉野 英国



今後ウイズコロナ・アフターコロナ時代を見据えて市民が健康で安心して暮らすことができる環境をどのように整え再構築して行くのか。

議員取組み

コロナ禍における高齢者支援体制の強化について一般質問しました。

1、高齢者を取り巻く環境への取組

私：今後の介護施設整備計画が示されているが、コロナ禍の現状を踏まえ、これまで培ってきた感染症に対応する考えを新規の施設整備に折り込む事が必要では、市の考えは。

市：感染症発生時のゾーニング（区画分け）が円滑にできるか、日常の感染防止に適した構造か、など運用面での工夫がされているか、など、国の感染対策の手引き等を参考に評価し、適切な事業を採択していきます。

2、高齢者施設への感染症対策支援

私：4月から始まった高齢者施設でのワクチン接種では、一部の職員は対象外だったため、ワクチン接種を行っていない職員が入所者と接する恐れがあり、職員の接種枠の拡大が必要と考える。また、施設入所者が65歳未満の場合への対応はどの様に行うのか。

市：施設に併設されるデイサービス等の職員も接種する必要があるため、入所施設の職員と同じように接種券を発行しています。また、65歳未満の入所者についても、他の入所者同様に、早期接種できるよう対応していきます。

私：市内の高齢者入所施設の職員全員を対象にスクリーニング検査（注①）を4月～6月の機関で実施されているが、ワクチン接種後コロナの感染状況が落ち着くまでは、スクリーニング検査を継続すべきである。

市：地域の感染状況やワクチン接種状況、抗原簡易キットの配布状況や国の動向等を見ながら、県と連携してスクリーニングの必要性を判断します。



後日、スクリーニング検査の8月末まで延長が決定

私：各施設において業務継続計画（注②）の策定が進む中、策定すればそれで良いわけではない。常に最新の情報を業務継続計画に反映させ、より実効性の高い計画にすべきであり、そのためには施設間の連携を強化し、各施設がこれまで体験してきた情報を共有することが必要と考えます。

市：市内事業所では実際に利用者や職員に感染者が発生していることから、これらの経験も市が行う研修や各種会合で共有する等により、業務継続計画に反映してもらい、各事業所の体制向上を図っていきます。

注①：ターゲットとなる集団に対して実施する共通検査で、今回は各職員の唾液を採取し検査を行っている。

注②：業務継続計画とは、介護施設において感染症や災害が発生した場合でも、必要な介護サービスが安定的・継続的に提供できる体制を構築する計画

議員活動

議会における所属委員会



本年度の豊田市議会での所属委員会は
環境福祉委員会で**副委員長**です。

市行事



4. 17：市主催の**戦没者春のみたま祭**にて**献花**させて頂きました。碑戦没者入魂者数 4,161

子ども食堂お手伝い



私 益富子ども食堂の皆さん

4. 25、6. 27：益富交流館にて**お手伝い**させて頂きました。

子どもの
笑顔に癒
されました。



私



自治区組長会



熱心に聞いて頂き、質問も多数ありました。

6. 27：地域の組長会にて**市のワクチン接種**に関するワクチン接種券、接種会場、接種枠の拡大、インターネット予約支援窓口など**状況**をご説明しました。

くらしの相談 取り組み等の紹介

職場トーク

「**カーボンニュートラル・ゼロカーボンシティ**」をテーマに豊田市の取り組み内容を職場に共有し、意見交換させて頂きました！



PC 説明資料



画面共有でご説明します。



トークイメージ

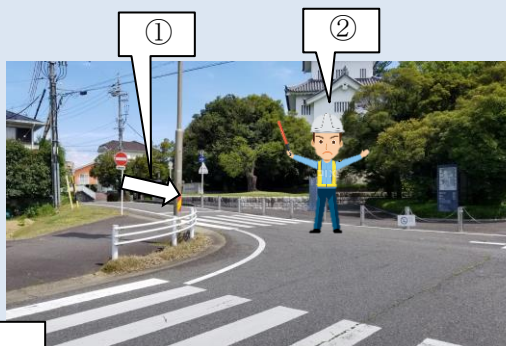
くらしの相談

小坂本町6丁目からの一方通行の道。美術館の来場数が多い土日に、逆走車が多く危険。

<現地確認>



一方通行の出口が分りづらく侵入する。



<対応>

逆走する道への入り口に
①侵入禁止の標識や、一方通行の出口の**標識**を手前側に**移動を市へ要望**。
②来場者が多いイベント時、**警備員**による監視を**美術館へ要望**しました。